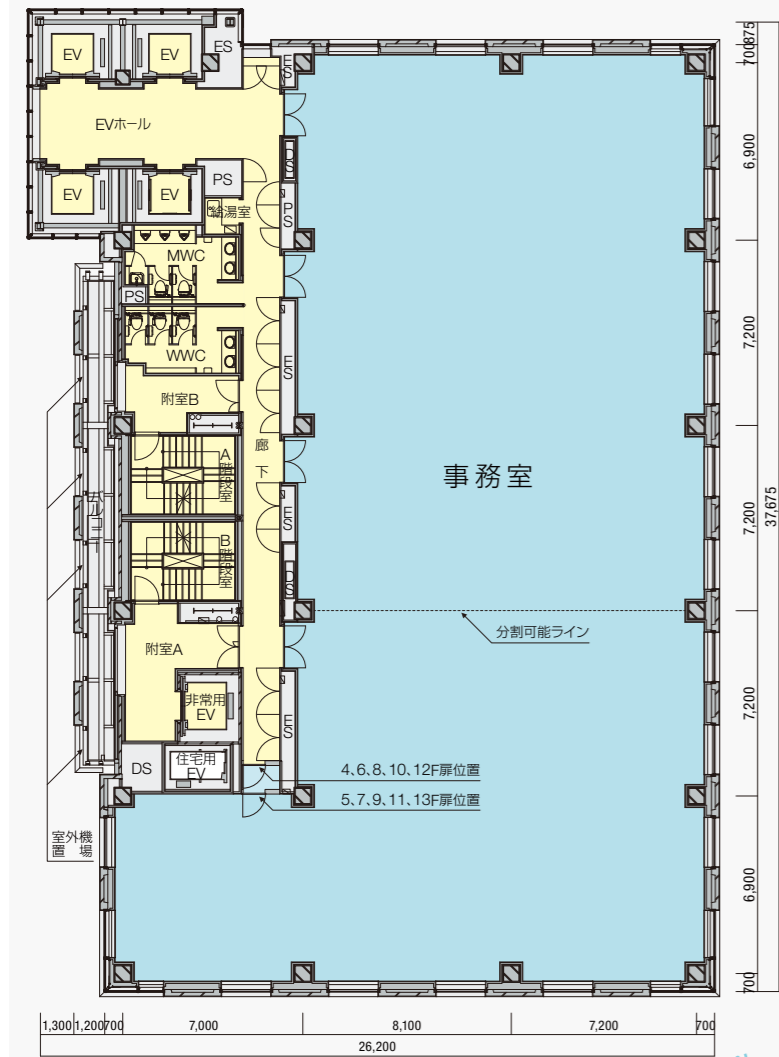


トライエッジ 御茶ノ水 機能性に富むユーザビリティの高い専有部

日々変化するビジネスニーズに応えるため、専有部はレイアウトの自由度を重視した設計を採用し、使いやすさを第一に考えたスペックを備えています。

■基準階平面図(4~13階)



- 貸室面積(4、6、8、10、12階): 662.05㎡(200.27坪)
- 貸室面積(5、7、9、11、13階): 660.30㎡(199.74坪)



建築概要

名称 トライエッジ御茶ノ水
所在地 東京都千代田区神田駿河台4-2-5
敷地面積 1,995.99㎡(603.78坪)
建築面積 1,025.81㎡(310.30坪)
延床面積 15,675.26㎡(4,741.76坪)
設計監理 丹下都市建築設計、ホームマートホーム株式会社、鹿島建設株式会社
施工 鹿島・竹中共同企業体
建物管理 ㈱日本プロパティソリューションズ
竣工 2006年2月

建物概要

構造 地上部:S造(CFT柱+S梁)、地下部:SRC造、制震装置
規模 地上17階、地下2階、塔屋1階
天井高 2,700mm
配線方式 フリーアクセスフロア(H=100mm)
床荷重 一般部:500kg/㎡、ヘビーデューティゾーン:800kg/㎡
駐車場 水平循環式機械式駐車場44台
 (収容車寸法:全長5,300mm×全幅2,050mm×全高1,550mm)

設備概要

電気設備 コンセント容量:60VA/㎡
照明設備 グリッドシステム天井埋込下面開放型ルーバー付、机上平均照度:700LX
空調設備 個別分散空調(スリム毎の冷暖フリータイプ)、各階11ゾーン(約40㎡/ゾーン)にて個別運転可能
通信設備 電話回線:基準階40P、光ケーブル等将来予備配管設置
給湯設備 電気式給湯器
防災設備 自動火災報知器、防排煙監視制御、非常用放送、非常用電話、非常コンセント、避難誘導灯、非常用照明、機械排煙、スプリンクラー+補助散水栓、連結送水管、泡消火、不活性ガス消火、消防用水
防犯設備 機械警備、非接触ICカード連動電気錠
昇降設備 事務所用エレベータ4基(15人乗、105m/分)
 非常用兼人荷用エレベータ1基(17人乗、105m/分)

充実のフロアスペック。多彩なオフィスレイアウトが可能。

安全性・信頼性

- 床荷重:500kg/㎡(ヘビーデューティゾーン:800kg/㎡)
- 非接触ICカードによる入退室管理と機械警備
- 制震装置(ハニカムダンパ)

快適性

- 基準階天井高:2,700mm
- グリッド天井システム
- 机上平均照度:700LX
- 個別空調システム、ゾーニング空調制御

機能性

- コンセント容量:60VA/㎡
- 24時間入退館可能
- 光ケーブル引込可能
- 水平循環式機械式駐車場44台(大型車可)

フレキシビリティ

- フリーアクセスフロア:H=100mm
- フロアは約200坪の整形無柱空間
- 細かな空調吹出口配置で自由なレイアウトが可能

丹下都市建築設計の設計監理ビル

美しい外観が格式高い街並に映える「トライエッジ御茶ノ水」。同ビルは、国内外で最も著名な日本人建築家の一である丹下健三氏が設計した、数少ないテナントオフィスビルの1つです。

- 丹下健三氏代表作
写真左から、東京都庁、フジテレビ本社、代々木第一体育館



トライエッジ
御茶ノ水

Try Edge
Ochanomizu

新たなビジネスエリアとして発展著しい御茶ノ水

複数の大規模再開発ビルの竣工と、交通インフラの整備により、ビジネスエリアとしてのポテンシャルを急速に高めた御茶ノ水。最先端のスペックを導入したビル群には大手企業が集積し、歴史ある街の伝統と調和しながら都内屈指のハイグレードなエリアへと変貌しています。



JRと地下鉄のアクセス強化によりさらに高まる交通利便性

- 4駅(御茶ノ水駅・新御茶ノ水駅・小川町駅・淡路町駅)、6路線(JR3路線・地下鉄3路線)利用可
- 新御茶ノ水駅地下鉄出入口B2の増設(隣接する御茶ノ水ソラシティの地下広場から改札直結)
- JR中央・総武線「御茶ノ水」駅より徒歩3分
- 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅より徒歩2分
- 東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅より徒歩5分

主要駅までの所要時間(御茶ノ水駅より)

- 東京まで約5分(JR中央線快速利用)
- 新宿まで約10分(JR中央線快速利用)
- 渋谷まで約15分(JR中央線快速利用→新宿乗換→JR山手線利用)
- 池袋まで約12分(東京メトロ丸ノ内線利用)
- 品川まで約14分(JR中央線快速利用→東京乗換→JR山手線利用)
- 上野まで約5分(JR総武線利用→秋葉原乗換→JR山手線利用)

※所要時間は、乗り換え・待ち時間は含まれません。また、時間帯により多少異なります。



洗練されたデザインの外観と充実した共用部

ビルクラスを体現するスタイリッシュなファサードとエントランス。共用部には先進の設備と24時間有人管理を導入し、ハード・ソフト面ともに充実させています。



前庭～エントランス



エントランスホール



エレベーターホール

ハイスぺック制震建築

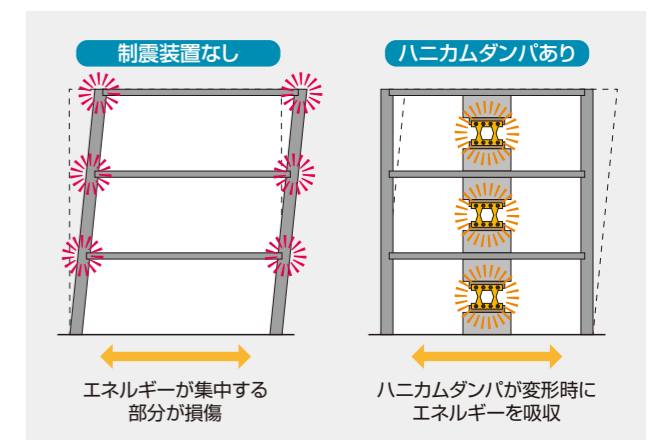
高層建築物の安全性・居住性を高める制震構造を採用。

●制震構造の特徴

- 鹿島建設独自のパッシブ型制震システム(HDS:ハニカムダンパシステム)を採用。揺れに伴う「歪み」を鋼製のダンパに吸収させ、建物本体の損傷を防ぎます。建物の骨組みを強化して地震に耐える一般的な耐震建築と比較して、大きな地震時に建物内部の揺れを抑え、二次災害を軽減できることが特徴です。
- ▶非制震建物に比べて、地震の揺れが小さく早く収束(対新耐震建物比30%低減)
- ▶震度5以上の大きな地震に特に効果を発揮



ハニカムダンパ



制震装置なし

ハニカムダンパあり

エネルギーが集中する部分が損傷

ハニカムダンパが変形時にエネルギーを吸収

防災センター設備員 24時間常駐対応

専門の技術員・設備員による24時間365日常駐を実現。

●BCP対応

- ビル専用の緊急時対応マニュアル整備
- 火災・震災後の早期安全確認が可能
- 常駐員によるフレキシブルな現場対応

[参考]ビル貯水槽(32t)の水を館内供給(館内人口1.3日分の雑用水に対応)

●統括防災管理者(自衛消防組織)が常駐し、各テナントの防火管理者との機動的な連携が可能

●テナント対応

- 非常時入退出管理(鍵忘れ時)、荷物搬出入時、警報発生時に即時対応が可能

[参考]大規模災害時、常駐員のいないオフィスビルの場合、テナントは自立的に行動する必要があります。



防災センター